



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成25年8月26日（月）
利根川水系渇水対策連絡協議会
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

平成25年度 第5回利根川水系渇水対策連絡協議会 幹事会（臨時）の開催結果について

1. 開催状況

日時：平成25年8月26日（月）14：00～

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害対策本部室

協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、
群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙の通り

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ

問い合わせ先

国土交通省
関東地方整備局 河川部水政課

水政調整官 小池 勇（内線）3515
水政課長 澤田 晋（内線）3551
建設専門官 一條 勝志（内線）3557

住所 〒330-9724
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
さいたま新都心合同庁舎2号館
電話 （代表） 048-601-3151

現状と今後の対応

(1) 現状

- ・降水量（栗橋上流域平均）の状況

5月の累加降水量は46mm（平年の38%、昭和23年以降最も少ない値）

7月の累加降水量は152mm（平年の76%）

8月は25日までの累加で125mm（8月の累加降水量の平均は206mm）

- ・利根川上流8ダムの貯水状況（8月26日0時現在）

先週末の降雨により、貯水量は若干増加しました。

貯水量は1億6,405万 m^3 、貯水率48%、平年比で62%

なお、貯水量は、過去22年間（奈良俣ダムが運用を開始し、8ダム体制となった平成4年以降）の同日と比べて、3番目に少なくなっています。

- ・利根川水系では、7月24日9時より10%の取水制限（施設未完成による暫定水利権については20%の取水制限）を実施中です。

(2) 今後の見通し

- ・気象庁発表の気象情報によると、8月いっぱいには、雨の降る日もありますが、一気に少雨の状態が解消する可能性は小さく、少雨の状態が続く見込みです。

- ・中・上流部の農業用水や都市用水の水利用が、夏場と同様の需要が続いており、河川からの取水が継続することが予想されます。

- ・今後、河川の流量が減少した場合、ダムに貯留した水を農業用水や都市用水等のために継続的に補給する必要性が生じ、ダム貯水量の継続的な減少が予想されます。

(3) 今後の対応

- ・当面は10%の取水制限を継続するが、今後、利根川上流の8ダムの貯水量の大幅な減少が継続する場合等には、取水制限を20%（施設未完成による暫定水利権については30%）に強化することについて検討する旨確認しました。

- ・取水制限を強化する場合には、利根川水系渇水対策連絡協議会を開催して協議することを確認しました。（なお、開催日時、場所については、事務局より改めて連絡、公表します。）

- ・水資源の有効利用を図るため、節水に努めるとともに幅広い広報活動を通じて、利水者に節水への協力を要請していきます。

利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



写真：下久保ダム
(撮影日 ８月２６日)

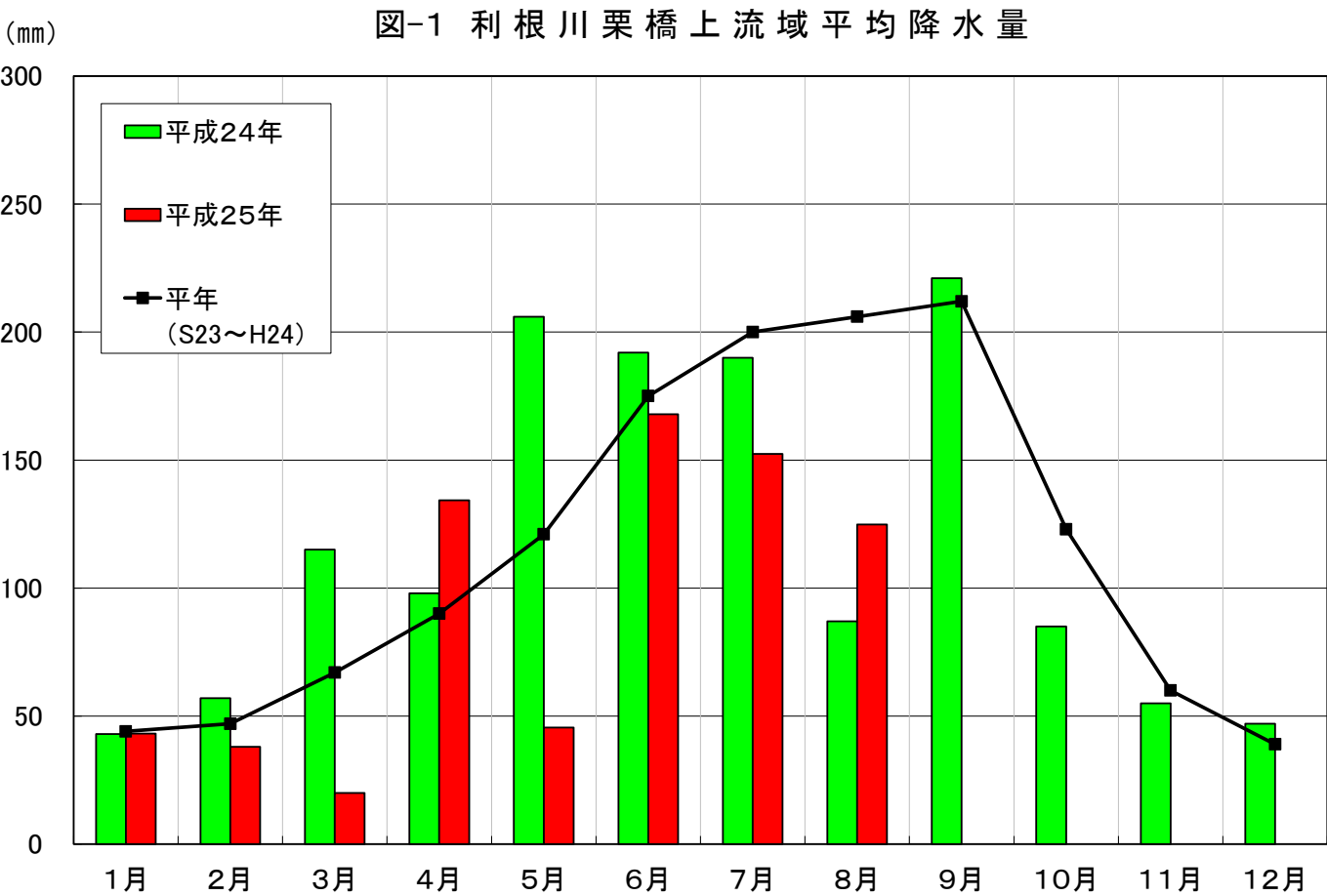
平成２５年８月２６日

関 東 地 方 整 備 局

1. 利根川上流ダム群等の現況

1) 利根川

①栗橋上流域平均の累加降水量は、7月が152mm（平年の76％）となっています。（図－1、表－1）
8月は25日までの累加で125mmとなっています。（8月の累加降水量の平均は206mm）



表－1 利根川栗橋上流域平均降水量（平成25年8月25日まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395	"
平年 (S23-H24)	44	47	67	90	121	175	200	206	212	123	60	39	1,383	
平成25年	43	38	20	134	46	168	152	125					726	
平年比 (%)	98	81	30	149	38	96	76	61					53	

※: 利根川取水制限実施月（一時緩和含む）

※: 栗橋上流域面積 8,588km²

② 利根川上流8ダムは、降水量の少ない状態が続き、河川の流量が減少したため、5月下旬より都市用水や農業用水の需要を確保するために、ダムに貯留した水を補給しました。7月下旬から8月上旬にかけて貯水量が増加しましたが、その後、貯水量は減少しています。(図-2)

8月26日0時の貯水量は1億6,405万m³、貯水率48%、平年比で62%となっています。(表-2)

なお、貯水量は、過去22年間(奈良俣ダムが運用を開始し、8ダム体制となった平成4年以降)の同日の値と比べて、3番目に少なくなっています。

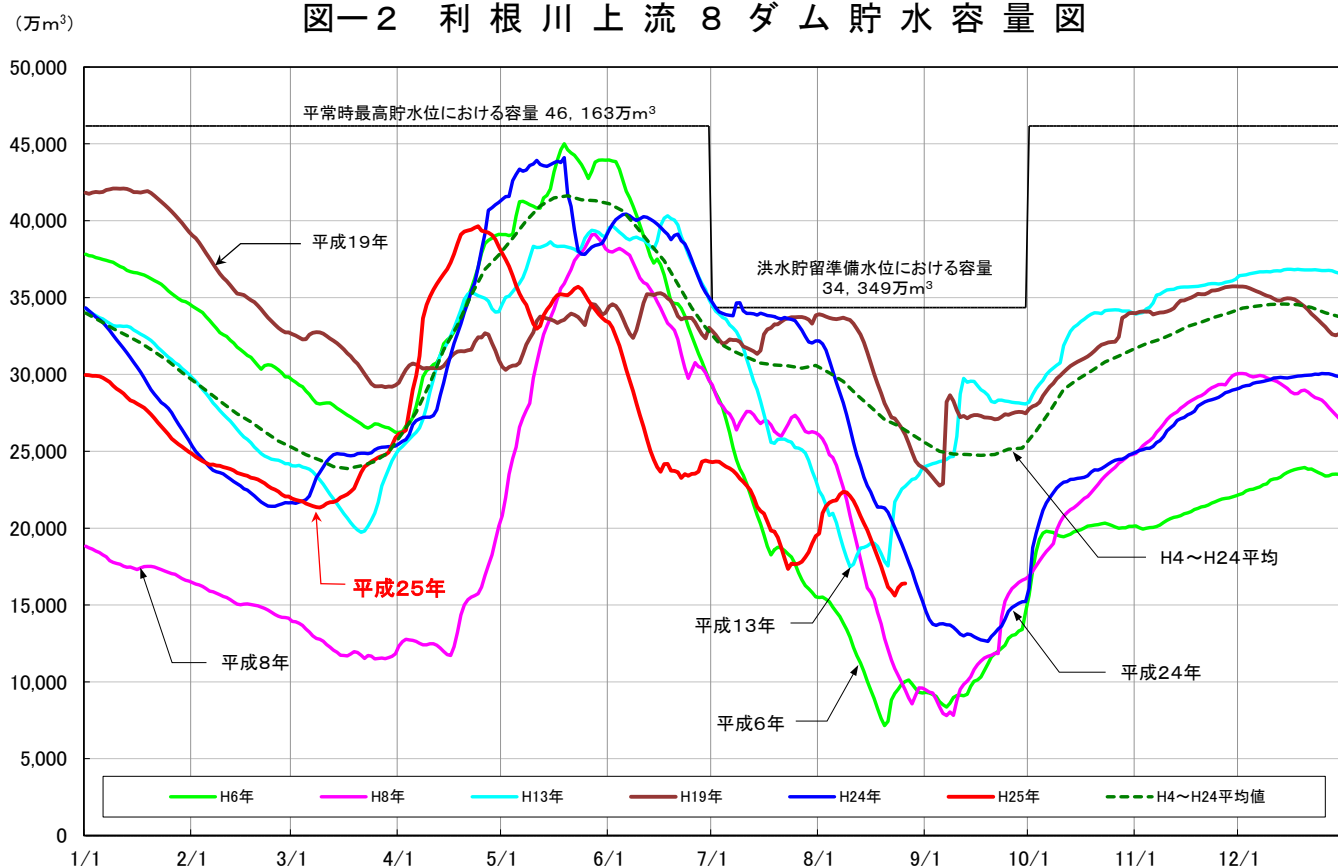
表-2 利根川上流8ダム貯水量

平成25年8月26日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)	平年比 (%)
矢木沢ダム	11,550	4,155	36	-92	-
奈良俣ダム	7,200	3,333	46	-42	-
藤原ダム	1,469	1,326	90	-32	-
相俣ダム	1,060	884	83	10	-
藺原ダム	300	290	97	47	-
下久保ダム	8,500	2,817	33	70	-
草木ダム	3,050	2,393	78	12	-
渡良瀬貯水池	1,220	1,207	99	0	-
8ダム合計	34,349	16,405	48	-27	62

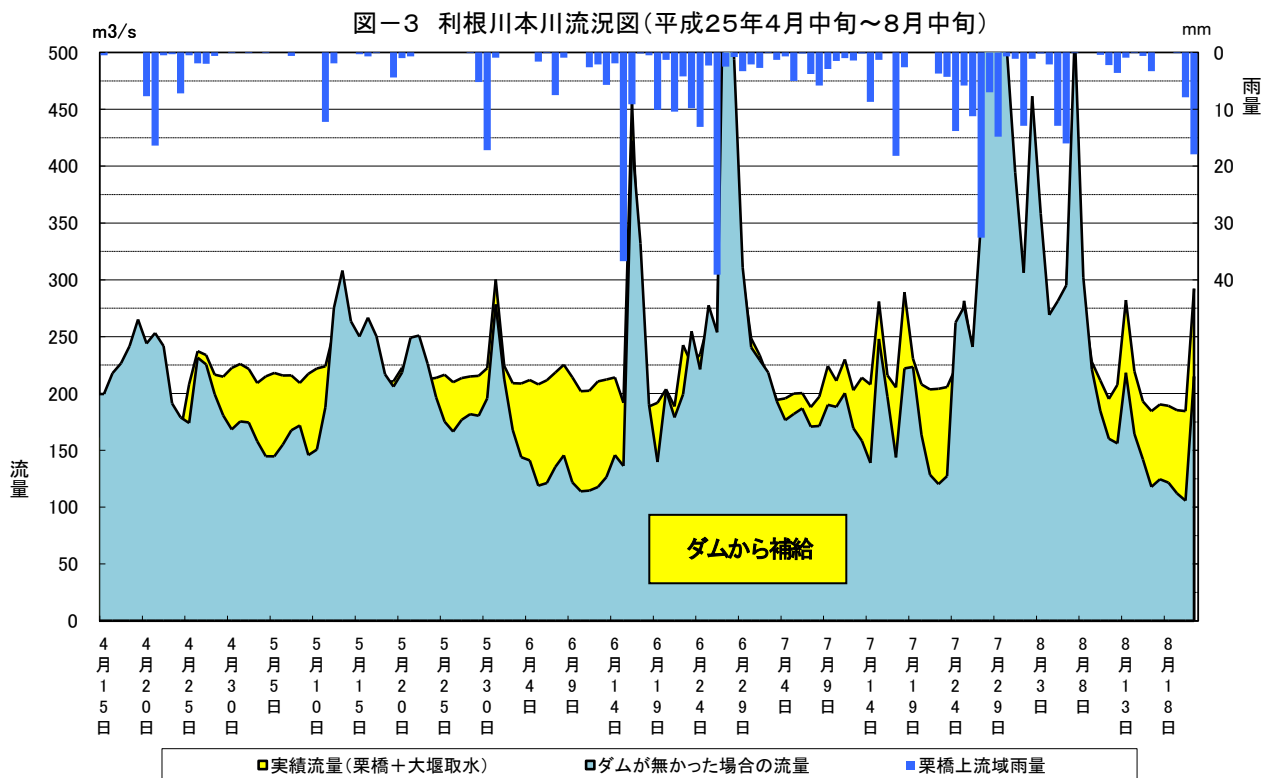
1. 有効容量は、夏期制限容量。(矢木沢ダム除く)
2. 貯水率は、夏期制限容量に対する貯水量の割合。(矢木沢ダム除く)
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い)

図-2 利根川上流8ダム貯水容量図

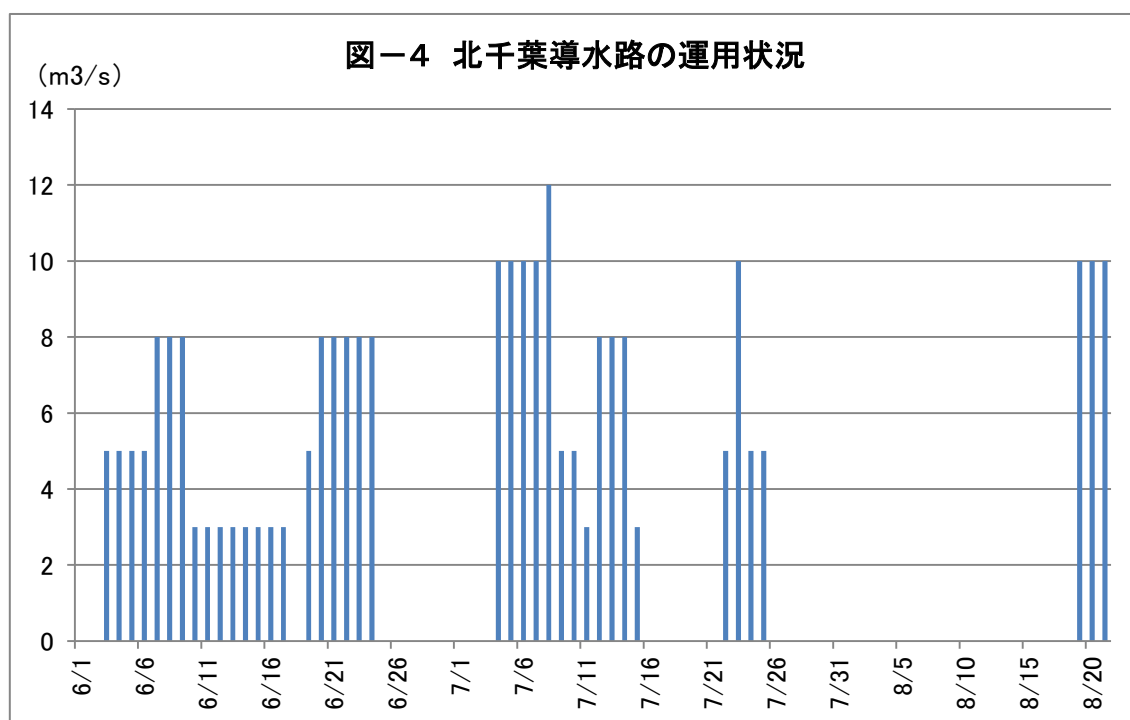


平成25年は5月以降、1日当たり最大800万 m^3 /日（東京ドーム6.5個分）をダムから補給しており、利根川の流量（栗橋地点流量+利根大堰での取水量）の最大約4割をダムから補給してきております。

（図－3）



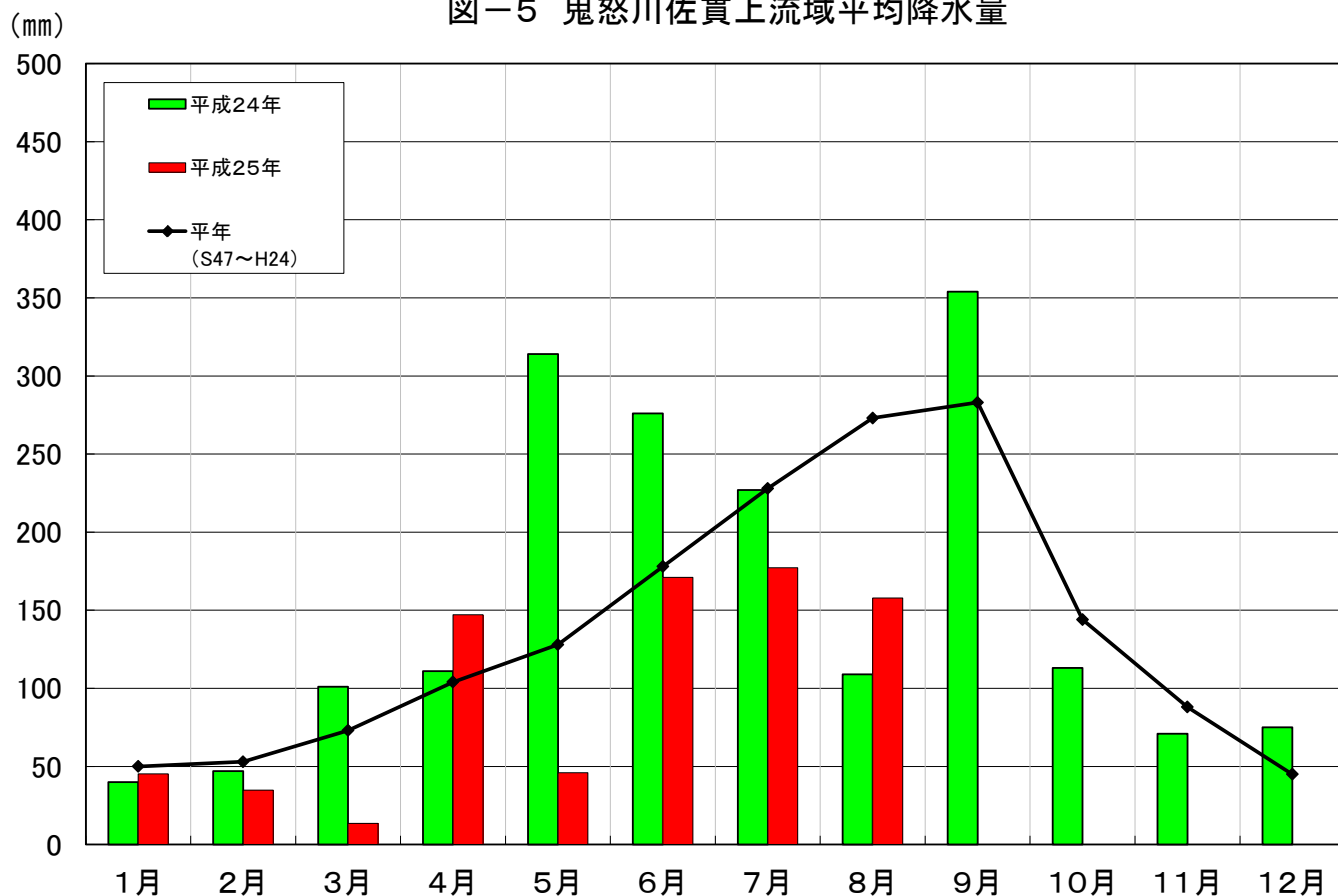
③北千葉導水路は6月3日より運用を開始し、8月22日までに最大12 m^3 /s、総量約1,988万 m^3 （40日間）の導水をしています。（図－4）



2) 鬼怒川

- ①鬼怒川佐貫上流域平均累加降水量は、7月が177mm（平年の78％）となっています。（表－3、図－5）
8月は25日までの累加で158mmとなっています。（8月の累加降水量の平均は273mm）

図－5 鬼怒川佐貫上流域平均降水量



表－3 鬼怒川佐貫上流域平均降水量（平成25年8月25日まで）

単位：(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301	
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853	
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583	
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140	
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525	
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980	
平成24年	40	47	101	111	314	276	227	109	354	113	71	75	1,838	
平年(S47~H24)	50	53	73	104	128	178	228	273	283	144	88	45	1,647	
平成25年	45	35	14	147	46	171	177	158					793	
平年比(%)	90	66	19	141	36	96	78	58					48	

※. 鬼怒川佐貫上流面積 940km²

②鬼怒川上流4ダムは、4月中旬から補給しており、貯水量が減少していましたが、7月下旬から8月上旬にかけて貯水量が増加しました。(図－6)

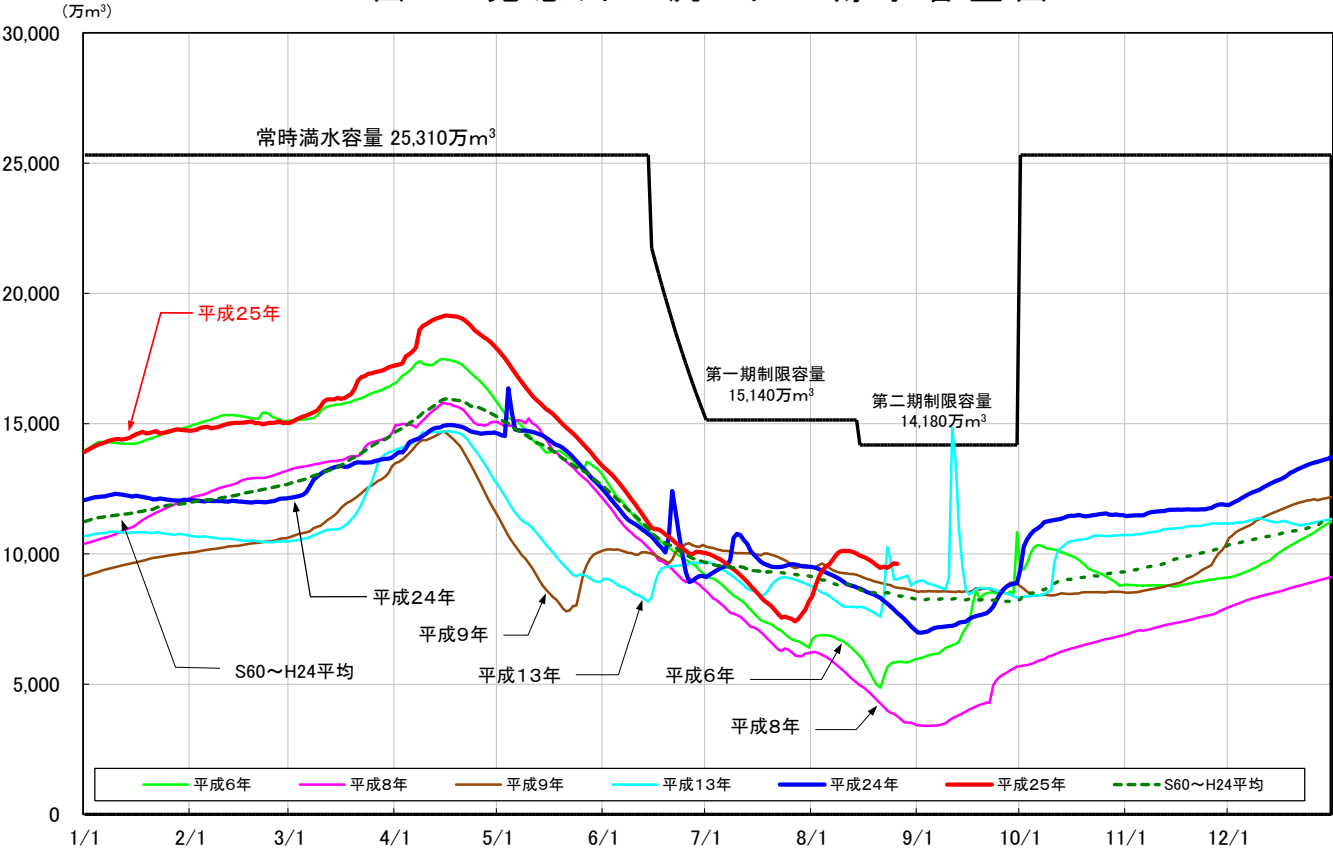
8月26日0時の貯水量は9,619万m³、貯水率68%、平年比で115%となっています。(表－4)

表－4 鬼怒川上流4ダム貯水量

平成25年8月26日0時現在					
ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)	平年比 (%)
五十里ダム	1,120	437	39	15	—
川俣ダム	4,860	3,390	70	19	—
川治ダム	4,000	2,377	59	－8	—
湯西川ダム	4,200	3,415	81	－1	—
4ダム合計	14,180	9,619	68	25	115

- 有効容量は、夏期制限容量。
- 貯水率は、夏期制限容量に対する貯水量の割合。
- 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い)
- 平年比は、五十里、川俣、川治の3ダムの平均貯水量に対する割合であり、参考値。

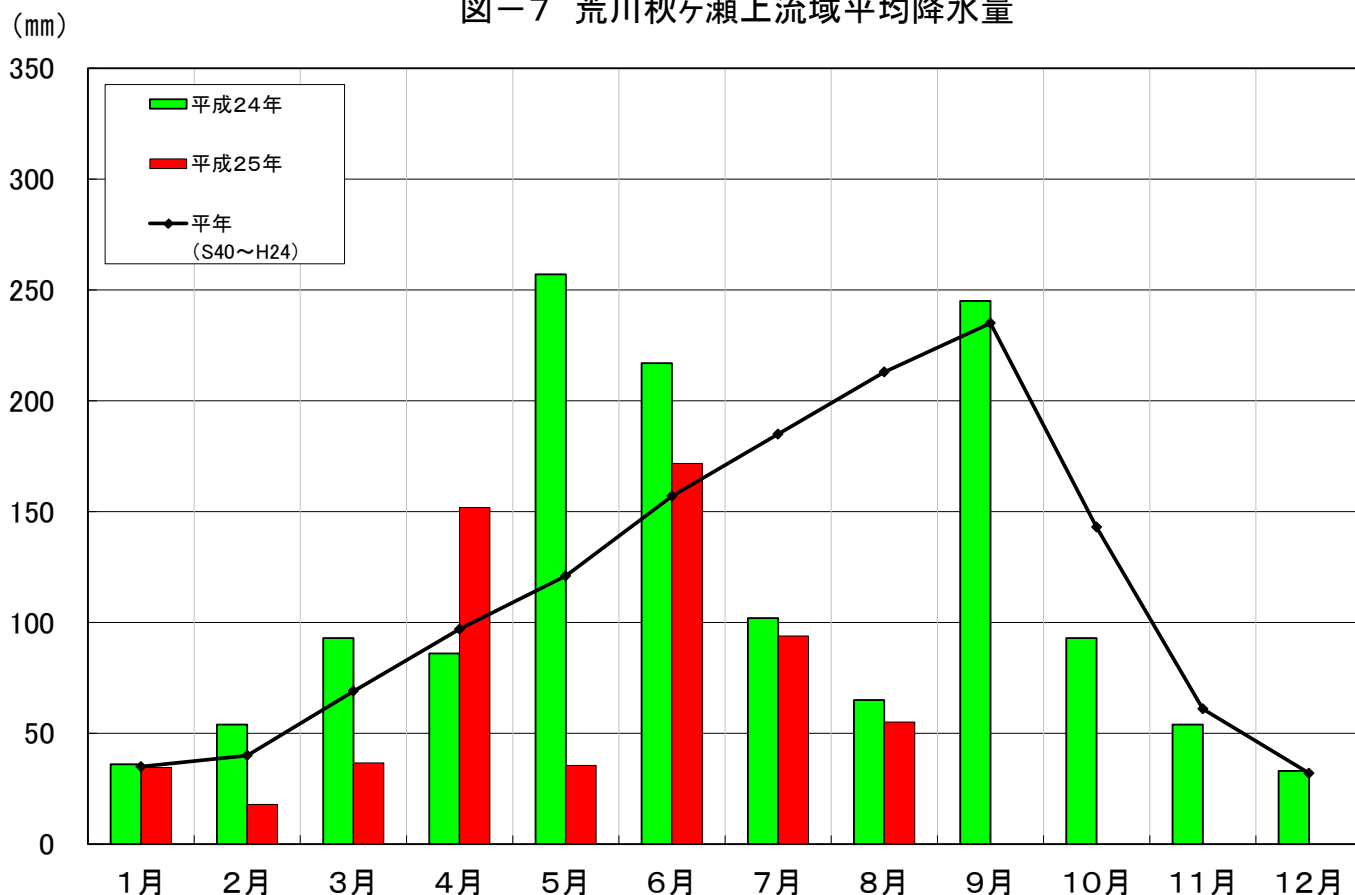
図－6 鬼怒川上流4ダム貯水容量図



3) 荒川

- ①荒川秋ヶ瀬上流域平均の累加降水量は、7月が94mm（平年の51％）となっています。（図－7、表－5）
8月は25日までの累加で55mmとなっています（8月の累加降水量の平均は213mm）

図－7 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量



表－5 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量（平成25年8月25日まで）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	摘 要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平年 (S40~H24)	35	40	69	97	121	157	185	213	235	143	61	32	1,385	
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	55					597	
平年比(%)	99	45	53	157	29	109	51	26					43	

※ 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※ 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

②荒川上流4ダムは、5月中旬から補給しており、貯水量が低下しています。(図－8)

8月26日0時の貯水量は4,951万m³、貯水率75%、平年比で124%となっています。(表－6)

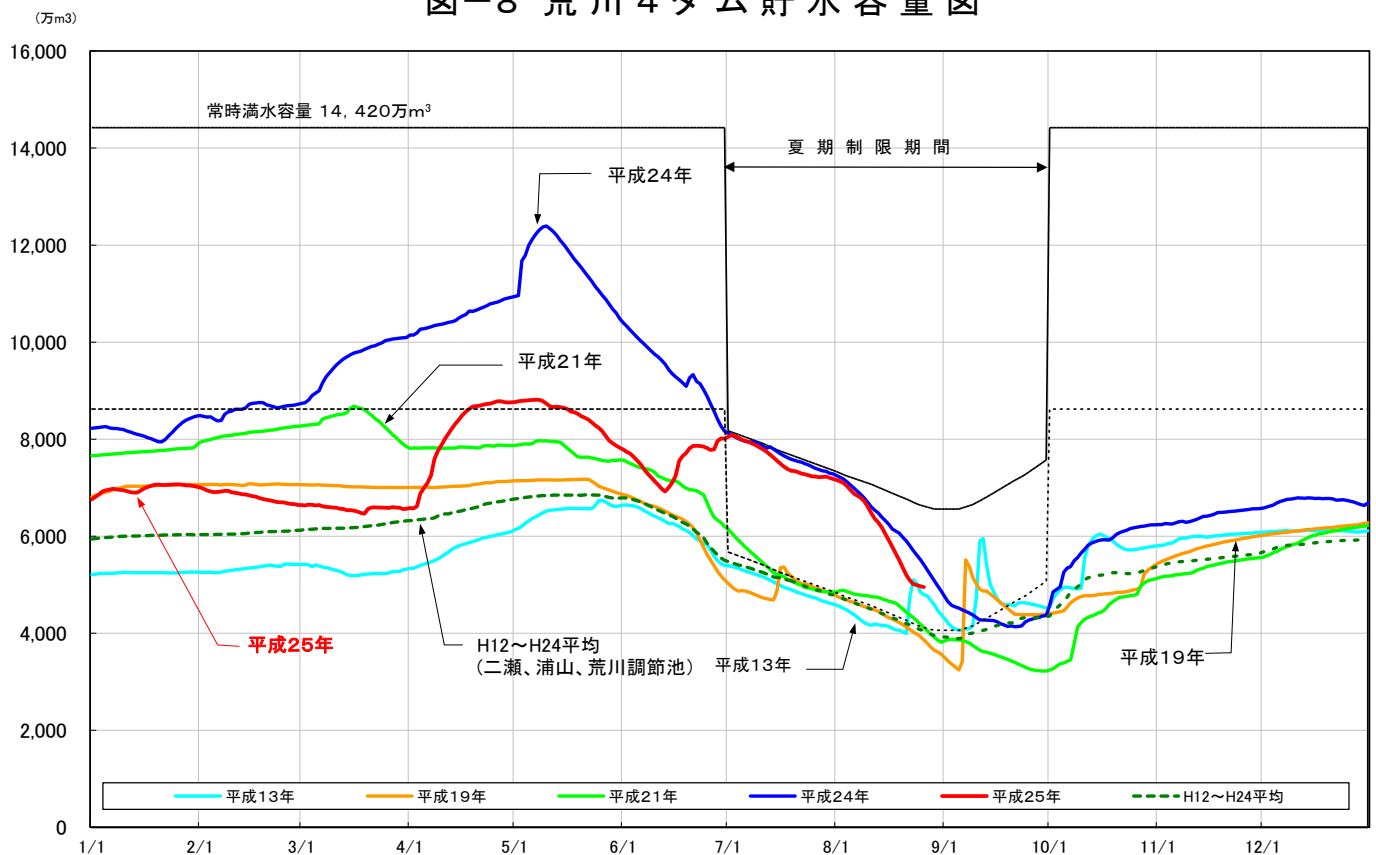
表－6 荒川4ダム貯水量

平成25年 8月26日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)	平年比 (%)
二瀬ダム	61	75	123	37	—
滝沢ダム	2,500	1,652	66	40	—
浦山ダム	3,300	2,716	82	－4	—
荒川貯水池	760	508	67	－53	—
4ダム合計	6,621	4,951	75	20	124

1. 有効容量は、夏期制限容量。
2. 貯水率は、夏期制限容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い)
4. 4ダム合計の平年比は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の平年貯水量の合計に対する割合であり、参考値。

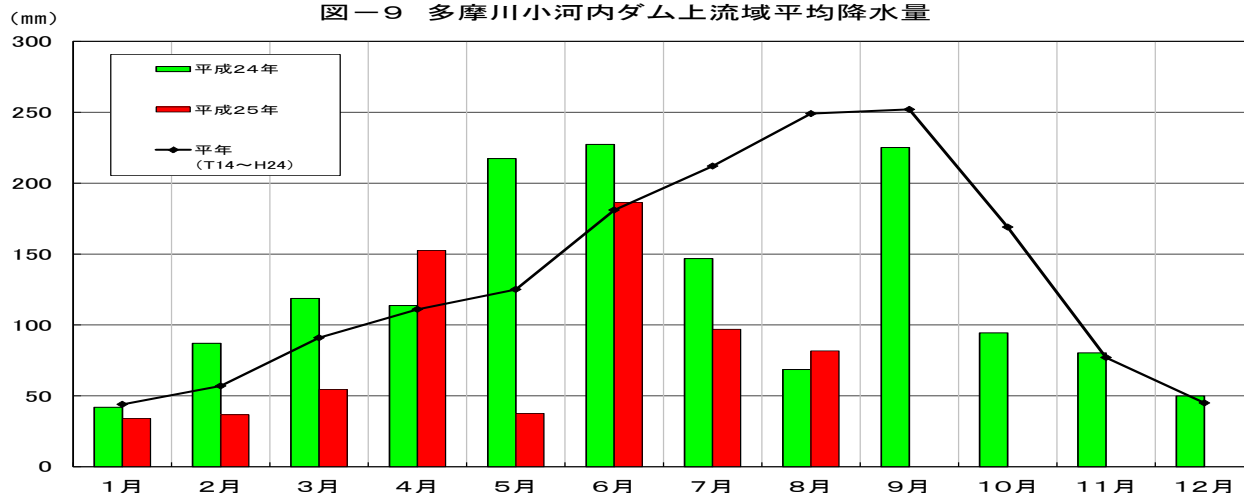
図－8 荒川4ダム貯水容量図



4) 多摩川水系

①小河内ダム上流域平均の7月の累加降水量は、97mm（平年の46％）となっています。8月は25日までの累加で82mmとなっています（8月の累加降水量の平均は249mm）。（表－7、図－9）

図－9 多摩川小河内ダム上流域平均降水量

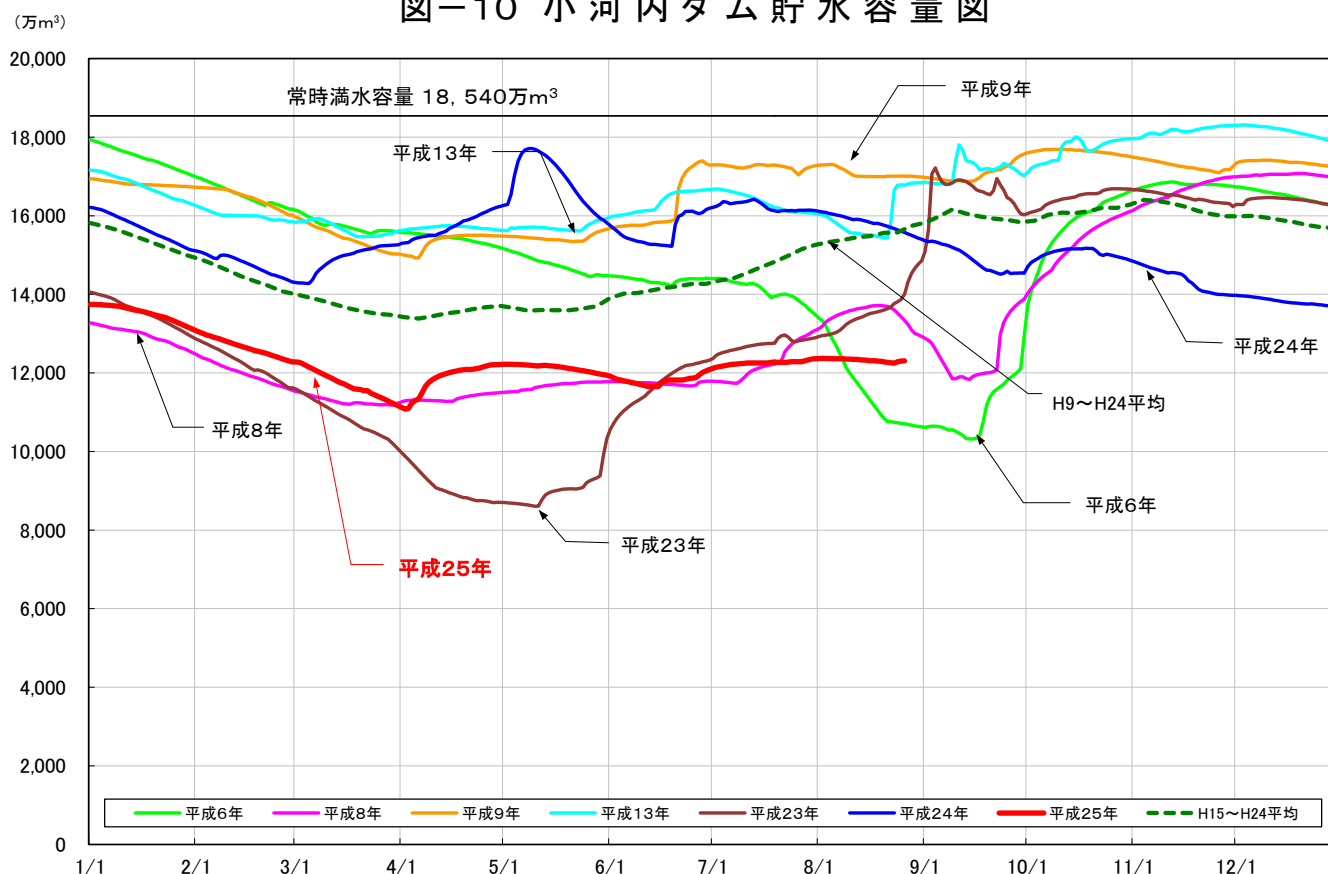


単位：(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
平成24年	42	87	119	114	217	227	147	69	225	94	80	50	1,471	
平均(T14~H24)	44	57	91	111	125	181	212	249	252	169	77	45	1,613	
平成25年	34	37	55	153	38	186	97	82					681	
平年比(%)	78	64	60	137	30	103	46	33					-	

表－7 多摩川小河内ダム上流域平均降水量（平成25年8月25日まで）

②小河内ダムの貯水量は、8月26日7時現在で、1億2,306万m³となっています。（図－10）

図－10 小河内ダム貯水容量図



2. 今後の見通し

(1) 見通し

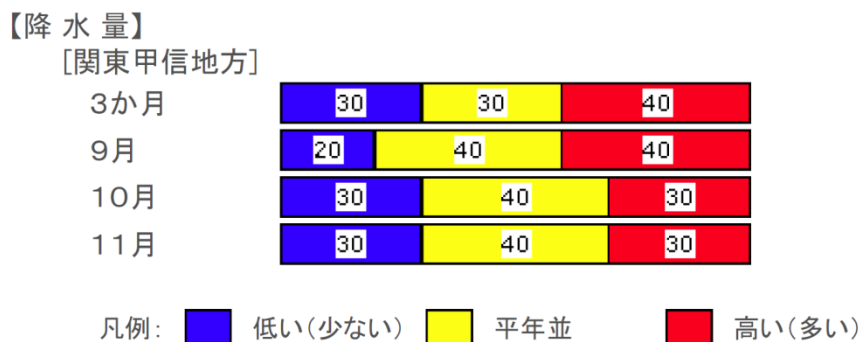
①平成25年8月23日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(8月24日から9月23日までの天候見通し)によると、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。降水量は、平年並または多い確率ともに40%となっています。

また、8月22日気象庁発表の3か月予報(9月から11月までの天候見通し)によると、9月の天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。降水量は、平年並または多い確率ともに40%となっています。

1か月予報(平成25年8月23日発表)



3か月予報(平成25年8月22日発表)



②平成25年8月21日気象庁発表の「長期間の高温と少雨に関する関東甲信地方気象情報 第3号」によると、8月いっぱい、気温が平年を上回る日が多く、少雨の状態が続く見込みとなっています。

長期間の高温と少雨に関する関東甲信地方気象情報 第3号

平成25年8月21日10時50分 気象庁発表

(見出し)

関東甲信地方では、気温がかなり高く、少雨の状態となっています。気温のかなり高い状態は24日頃まで続く見込みです。その後気温のかなり高い状態は解消しますが、8月いっぱい、気温が平年を上回る日が多く、少雨の状態が続く見込みです。農作物や水の管理、健康管理などに十分に注意してください。

(本文)

関東甲信地方では、5月は記録的に降水量が少なく、6月は平年並の降水量となり、7月以降は局地的に大雨となった所があったものの、広い範囲でのまとまった雨はなく、少雨の状態が続いています。また、8月7日頃からは、気温のかなり高い状態が続いています。

今後24日頃までは、太平洋高気圧が日本の南海上で強く、本州付近には南から暖かい空気が入るため、気温がかなり高い状態が続く見込みです。その後は、気温のかなり高い状態は解消し、一旦平年並程度になりますが、8月いっぱい、気温が平年を上回る日が多い見込みです。また、雨の降る日もありますが、一気に少雨の状態が解消する可能性は小さく、少雨の状態が続く見込みです。

農作物や水の管理、健康管理などに十分に注意してください。